

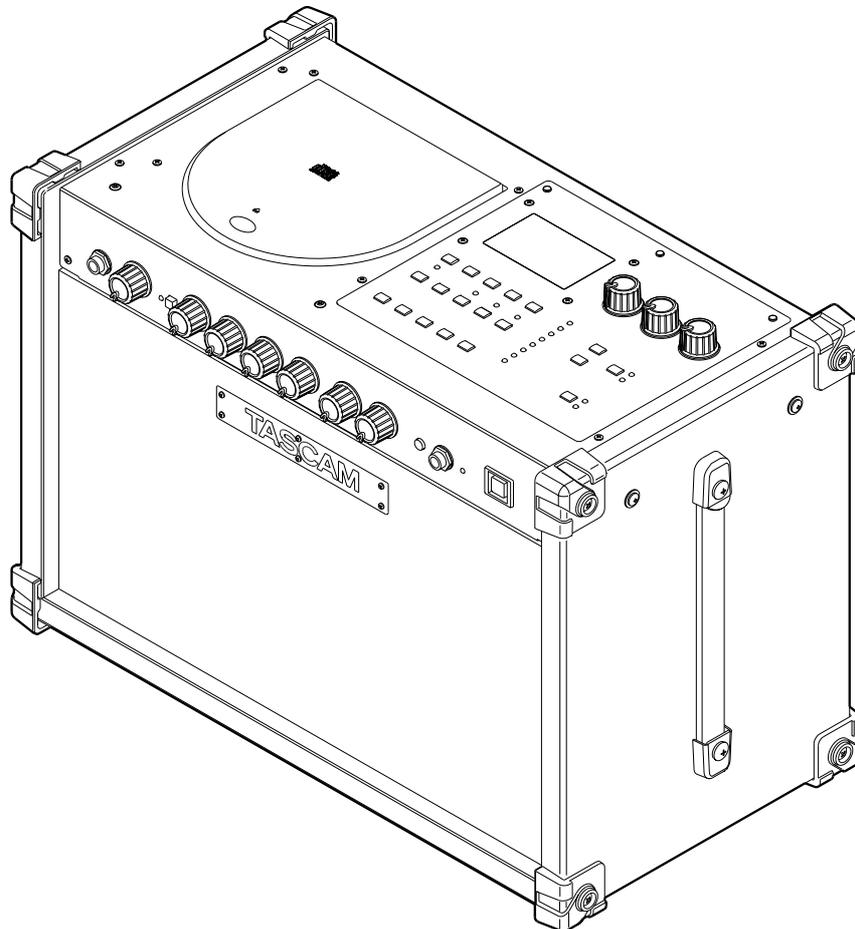
TASCAM

TEAC Professional Division

GA-30CD

Instrument Amplifier

取扱説明書



安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告



万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。



万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。



この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。



この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10 cm以上のすきまを空けてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠ 注意



オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。



次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所



電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



この機器には、付属の電源コードセットをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。



付属の電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。



落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

もくじ

安全にお使いいただくために	2	キーを変える	16
もくじ	4	キーの設定	16
1 はじめに	5	キーモードのオン/オフ	16
主な特長	5	ギター音をキャンセルする	16
取扱説明書の表記について	5	ギターキャンセル機能の設定を行なう	16
製品構成	5	7 チューナーを使う	17
設置場所についてのご注意	6	準備	17
使用上のご注意	6	チューニングモードを選択する	17
CD (コンパクトディスク) の取扱い	6	スピーカーのオン/オフを設定する	17
2 各部の名称と機能	7	基準周波数を設定する	17
フロントパネル	7	クロマチックモードでチューニングする	17
トップパネル	8	ギターモードでチューニングする	17
エフェクター部	8	8 オシレーター/メトロノームを使う	18
CD トレーナー部	8	オシレーターを使う	18
リアパネル	9	メトロノームを使う	18
LCD 部	10	9 各種設定を行なう	19
3 接続	11	再生モードの選択	19
ギターの接続	13	チューナーモードの選択	19
フットスイッチの接続	13	チューナー音のスピーカー出力オン/オフ	19
外部エフェクターの接続	13	エフェクタープリセットの初期化	19
ヘッドホンの接続	13	10 仕様	20
外部音源の接続	13	GUITAR AMP 部	20
4 ギターアンプを使う	12	CD 部	20
音量と音質を調節する	12	寸法図	20
5 エフェクターを使う	13	ブロックダイアグラム	21
エフェクター (EFFECT)	13		
エフェクターを選択する	13		
パラメータを設定する	13		
エフェクターのプリセット	14		
エフェクターのプリセットを初期状態に戻す	14		
リバーブ (REVERB)	14		
エフェクトバンク	14		
バンクを切り換える	14		
6 CD プレーヤーを使う	15		
CD を再生する	15		
時間表示を切り換える	15		
希望の範囲を繰り返し再生する	15		
1 曲または全曲を繰り返し再生する	15		
テンポを変える	15		
テンポの設定	15		
テンポモードのオン/オフ	16		
キーを変えずにテンポを変える (VSA)	16		

1 はじめに

このたびはGA-30CDをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。GA-30CDは総合30W出力、6.5インチスピーカー1本と3インチスピーカー2本を搭載したギターアンプで、TASCAM独自のNeo Tubeテクノロジーを採用しています。また高性能エフェクターを内蔵していますので、外部のエフェクターを使わずに自在な音作りが可能です。さらに内蔵のCDプレーヤーを使って、CDに合わせた練習や、あらかじめ録音したCDをバックギングにしたライブ演奏などが可能です。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

主な特長

ギターアンプ部

- 出力15W、6.5インチ(16.5cm)スピーカー搭載。
- 3バンドEQを搭載し、多彩な音色作りが可能。
- ブースト回路を搭載し、クリーンサウンドとオーバードライブサウンドをスイッチで切り替えて使用可能。

DSPエフェクター部

- タスカム定評のDSPエフェクターを2基内蔵。1基目はエフェクターで、(ステレオ)ディレイ、パンニングディレイ、フランジャー、フェイザー、コーラス、トレモロ、オートワウ、ピッチシフターから選択可能。2基目はリバーブ専用。
- エフェクター音を左右のサイドスピーカーから出力することで、スペースなサウンド表現が可能(センタースピーカーからの出力も可能)。

CDトレーナー部

- 定評あるタスカムのCDトレーナーを搭載。
- ピッチやテンポのコントロールが自在なCDプレーヤー装備。
- 再生ピッチを保ったまま再生速度を可変できるVSA機能搭載。
- -50%~+16%のバリスピード。
- 上下6音半のキー可変。
- ギターキャンセル機能で、CDの再生音から特定の定位成分や音域をカット。
- 任意の範囲を繰り返し再生可能(ループ再生)。
- ギターアンプと独立して、CD再生用のステレオアンプ(7.5W+7.5W)と3インチ(7.6cm)のサブスピーカー2本を搭載。これによりCDのクリアな再生が可能。
- 内蔵のギターチューナーを使って簡単にギターのチューニングを行なうことが可能。
- メトロノーム内蔵。

その他

- 外部音源などの接続用としてステレオライン入力端子装備。
- ヘッドフォン端子装備。

取扱説明書の表記について

- 本機のキーの中には、長く(0.5秒以上)押し続けた場合とポンと(0.5秒以内)押した場合で機能が異なるものがあります。本取扱説明書では、前者の場合(0.5秒以上押す場合)「キーを長く押します」と表記し、後者の場合(ポンと押す場合)は単に「キーを押します」と表記します。

製品構成

本機の構成は以下の通りです。

なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行なってください。梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

1. GA-30CD	×1
2. 電源コード	×1
3. 取扱説明書	×1
4. 保証書	×1

1 はじめに

設置場所についてのご注意

- 1 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所や不安定な場所。
 - 窓際など直射日光が当たる場所。
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
 - 極端に温度が低い場所。
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- 2 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- 3 テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 4 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

使用上のご注意

電源について

AC100V (50—60Hz) 以外の電源には接続しないでください。

電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

本体の手入れ

化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で本機を拭かないでください。表面を傷める原因となります。キャビネットやパネルの汚れは、薄めた中性洗剤液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

結露現象について

本製品を寒い場所から暖かい場所に移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

CD (コンパクトディスク) の取扱い

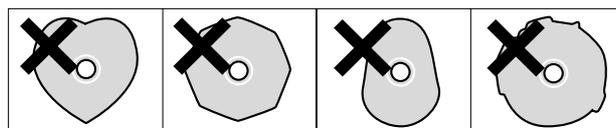
本機のCDプレーヤーはCD-DAフォーマットのCDを再生することができます。

市販のオーディオCD (120mm / 80mm) だけではなく、正しくオーディオを記録したCD-R/CD-RWを使用することができます。

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ディスクの汚れは、音飛びの原因となりますので、いつもきれいに清掃し、ケースに入れて保管してください。



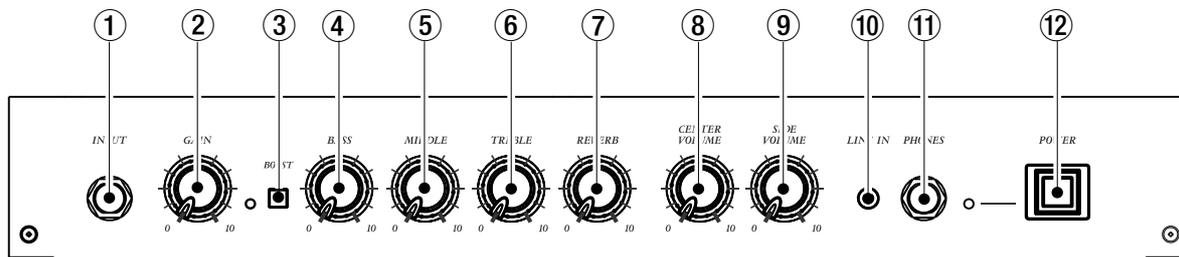
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所に置かないでください。長時間放置するとそりなどの原因となります。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- ディスクにゼロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またはシールなどから糊がはみ出しているものは、使用しないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ハート形や名刺型、八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。



- CDを取り出す場合に、CDのカバーを開けた直後はまだCDが回転していることがあります。このような場合は、CDの回転が止まってからCDを取り出してください。

2 各部の名称と機能

フロントパネル



① INPUT 端子

ギターを接続します。接続には一般的なギター用ケーブルを使用してください。

② GAIN つまみ

入力ゲインを変えることにより音量を調節します。

③ BOOST スイッチ

内蔵の歪み回路のオン/オフを行います。

OFF: 入力されたギターの音が歪まないクリアな状態で出力されます。GAIN つまみで音量が変化します。

ON: 歪み回路が接続されて迫力あるギターサウンドが出力されます。ON 状態では BOOST スイッチ左の LED が点灯します。GAIN つまみで音量と歪み量が変化します。

④ BASS つまみ

低音域を調節します。

⑤ MIDDLE つまみ

中音域を調節します。

⑥ TREBLE つまみ

高音域を調節します。

⑦ REVERB つまみ

リバーブ信号 (ウェット) の出力レベルを設定します。

内蔵リバーブには、ギタープリアンプの信号とエフェクター出力が入力され、リバーブからの出力は CENTER/SIDE の両方に送られます。

⑧ CENTER VOLUME つまみ

センタースピーカー (6.5 インチ) に送る出力信号全体の音量を調節します。メインスピーカーにはギターアンプ出力のほかに、エフェクター出力を送ることもできます。

⑨ SIDE VOLUME つまみ

2 個のサイドスピーカー (3 インチ) に送る出力信号全体の音量を調節します。サブスピーカーには CD トレーナー出力のほかに、エフェクター出力を送ることもできます。

⑩ LINE IN 端子

外部からのラインレベル信号 (シンセサイザー、ギタープリアンプ、MD プレーヤーなど) を接続します。入力された信号は SIDE スピーカーから出力されます。また、SIDE VOLUME で音量を調整することができます。

⑪ PHONES 端子

ステレオヘッドホン接続します。

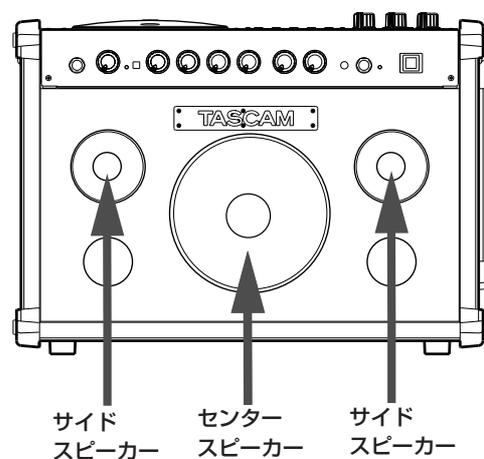
CENTER VOLUME と SIDE VOLUME を通った信号、および LINE IN 端子からの入力信号がミックスされてヘッドホンに送られます。

メモ

この端子にプラグを差しているときは、本機のスピーカーから音声が出されません。

⑫ POWER スイッチ

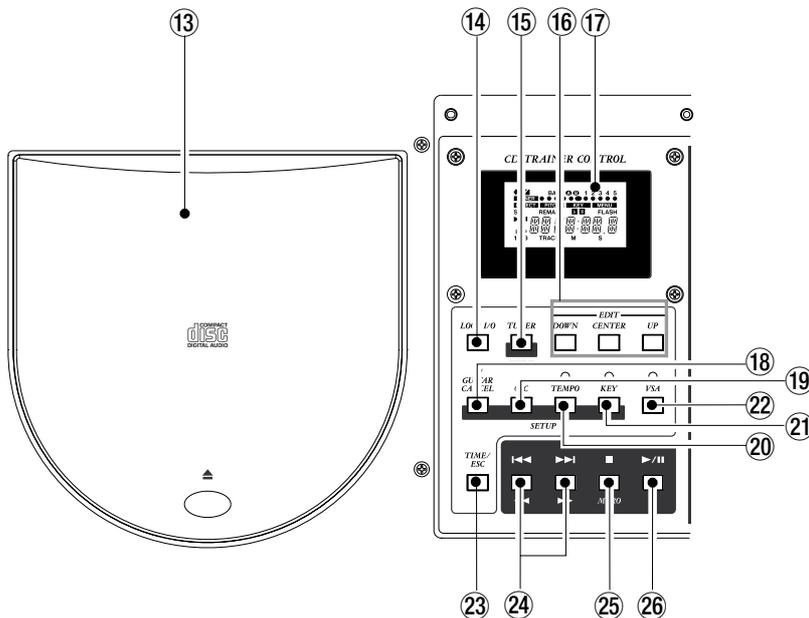
電源のオン/オフを行ないます。



2 各部の名称と機能

トップパネル

CDトレーナー部



CDトレーナー部には、CDプレーヤー機能の他に、チューナー、メトロノーム、オシレーターなどの機能があります。

⑬ CDプレーヤーカバー

手前の<▲マーク>を軽く押すとカバーが開きます。

⑭ LOOP I/Oキー

ループ再生を行なうときに使います。

CD再生中（または一時停止中）にこのキーを押すと、IN点（始点）を設定します。もう一度このキーを押すと、OUT点（終点）を設定し、自動的にループ再生を開始します。

IN点とOUT点が設定されている場合は、このキーを長く押す度にIN-OUT間ループ再生のオン/オフを切り替えます。

また、IN点とOUT点が設定されていない場合は、このキーを長く押す度に1曲繰り返しまたは全曲繰り返しのオン/オフを切り替えます。

(→ 15 ページ「希望の範囲を繰り返し再生する」) (→ 15 ページ「1曲または全曲を繰り返し再生する」)

⑮ TUNER/SETUP キー

このキーを押すと、チューナーモードのオン/オフが切り換わります。チューナーの詳細設定はセットアップモードで行ないます。(→ 17 ページ「チューナーを使う」)

このキーを長く押すと設定モードになります。設定モードではCD再生レベル、CD再生モード、チューナー機能などを設定します。いったんセットアップモードに入ると、このキーを押すたびに設定項目が切り換わります。(→ 19 ページ「各種設定を行なう」)

⑯ EDIT キー

3個のEDITキーを使って、各設定項目の設定を変更することができます。

- DOWN : 値を下げたり、定位を左に移動するときに使います。
- CENTER : デフォルト値やセンター値に戻すときに使います。
- UP : 値を上げたり、定位を右に移動するときに使います。

⑰ CDトレーナー表示窓

CDトレーナーの状態を表示します。

⑱ GUITAR CANCEL キー

このキーを押すとギターキャンセルモードのオン/オフを切り替えます。オンのときはLEDが点灯し、設定モードでは点滅します。このキーを長く押すと、ギターキャンセル設定モードになります。いったんギターキャンセル設定モードに入ると、このキーを押すたびに設定項目が切り換わります。(→ 16 ページ「ギターの音をキャンセルする」)

⑲ OSC キー

このキーを押すとオシレーターモードになり、任意の音程の信号をサブスピーカーから出力することができます。(→ 20 ページ「オシレーターを使う」)

このキーを長く押すと基準周波数を設定するキャリブレーションモードになります。(→ 17 ページ「基準周波数を設定する」)

2 各部の名称と機能

⑳ TEMPO キー

このキーを押すと、テンポモードのオン/オフを切り替えます。オンのときはLEDが点灯し、設定モードでは点滅します。このキーを長く押すと、テンポ設定モードになります。(→15ページ「テンポの設定」)

㉑ KEY キー

このキーを押すと、キーモードのオン/オフを切り替えます。オンのときはLEDが点灯し、設定モードでは点滅します。このキーを長く押すと、キー設定モードになります。(→16ページ「キーの設定」)

㉒ VSA キー

このキーを押すとVSA (Variable Speed Audition) モードになり、LEDが点灯します。VSA機能をオンにすると、曲のキーを保ったままテンポを変えることができます。

㉓ TIME/ESC キー

時間表示画面でこのキーを押すと、表示窓内の時間表示が換わります。

メニューモードでの設定時にこのキーを押すと、各設定モードを抜けて時間表示画面に戻ります。

㉔ トラックスキップ/サーチキー [◀◀/▶▶、▶▶/▶▶]

CD再生中に [◀◀/▶▶] キーまたは [▶▶/▶▶] キーを押すと、それぞれ前の曲、次の曲にスキップします。

停止中、これらのキーを使って、演奏を開始する曲を選択することができます。(再生を始めるには、PLAY キーを押します。)

CD再生中に [◀◀/▶▶] キーまたは [▶▶/▶▶] キーを押し続けると、それぞれ、早送り/早戻しができます。

押し続けるうちにスピードが徐々に速くなっていきます。

㉕ STOP/MTRO キー

CD再生を停止します。また、このキーを長く押すとメトロノームメニューに入ります。(→18ページ「メトロノームを使う」)

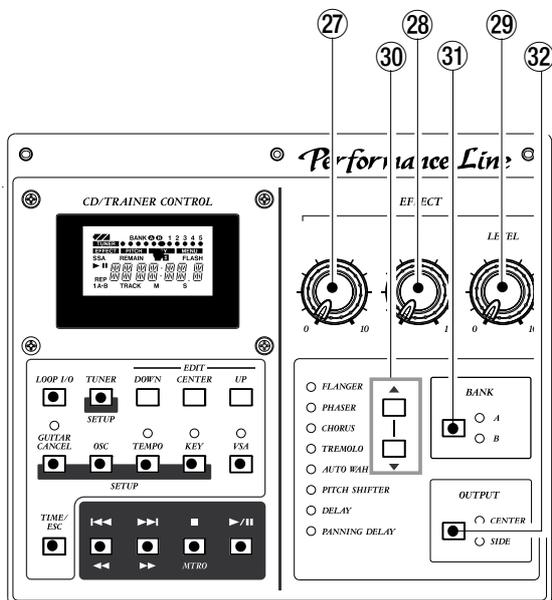
㉖ PLAY/PAUSE キー

CD再生を始めます。

再生中に押すと、一時停止します。

もう一度押すと再生を再開します。

エフェクター部



⑳ EFFECT 1 ノブ

選択されたエフェクターの一次的なパラメーター設定をします。

㉑ EFFECT 2 ノブ

選択されたエフェクターの二次的なパラメーター設定をします。

㉒ EFFECT LEVEL ノブ

選択されたエフェクターの効果量やフィードバックレベルを設定をします。

㉓ エフェクト選択キー (▲、▼)

エフェクトを選択します。選択できるエフェクトはディレイ、パンニングディレイ、フランジャー、フェイザー、コーラス、トレモロ、オートワウ、ピッチシフターのうち一つです。

選択に応じて、左のエフェクトインジケーターが点灯します。オフでは、全LEDが消灯となります。

㉔ バンクキー

エフェクターのプリセットバンクを選択します。(→14ページ「バンクを切り換える」)

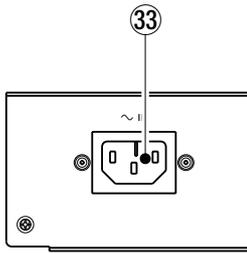
選択中のバンク(AもしくはB)のLEDが点灯します。

㉕ OUTPUT キー

エフェクト信号出力(ウェット)をセンタースピーカー、サイドスピーカーまたは両方に送ることができます。OUTPUTキーを押すたびに出力先設定が変わり、設定に応じてインジケーター(CENTER、SIDEまたは両方)が点灯します。

2 各部の名称と機能

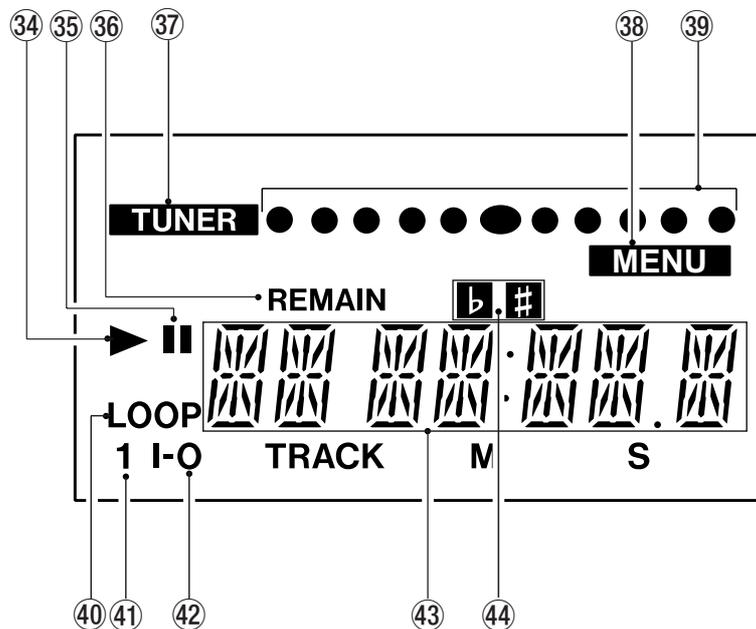
リアパネル



③③ ~ IN

付属の電源コードを使って電源を接続します。本機は日本国内専用です。(交流)100Vの電源コンセントに接続してください。

LCD部



③④ PLAYマーク

再生中に点灯します。

③⑤ PAUSEマーク

再生一時停止中に点灯します。

③⑥ REMAIN

REMAINは、時間表示部がCDの残り時間表示を示しているときに点灯します。

CD全体=REMAINが点灯し、トラック番号が消灯します。

再生中の曲の残り時間=REMAINが点灯し、再生中のトラック番号が表示されます。

詳細は15ページ「時間表示を切り替える」をご覧ください。

③⑦ TUNER

チューナー使用時に点灯します。

③⑧ MENU

セットアップメニューを開いた時に点滅します。

③⑨ チューニングメーター

チューニング時の音程を表示します。中央が正しい音程、左に行くほど低くなり、右に行くほど高くなります。

④⑩ LOOP

リピート再生 (ALL/SGL) が設定されている時に点灯します。

④⑪ 1

シングル再生モードが設定されている時に点灯します。

④⑫ I-O

区間リピートのIN点を設定すると点滅し、OUT点を設定すると点灯にかかります。

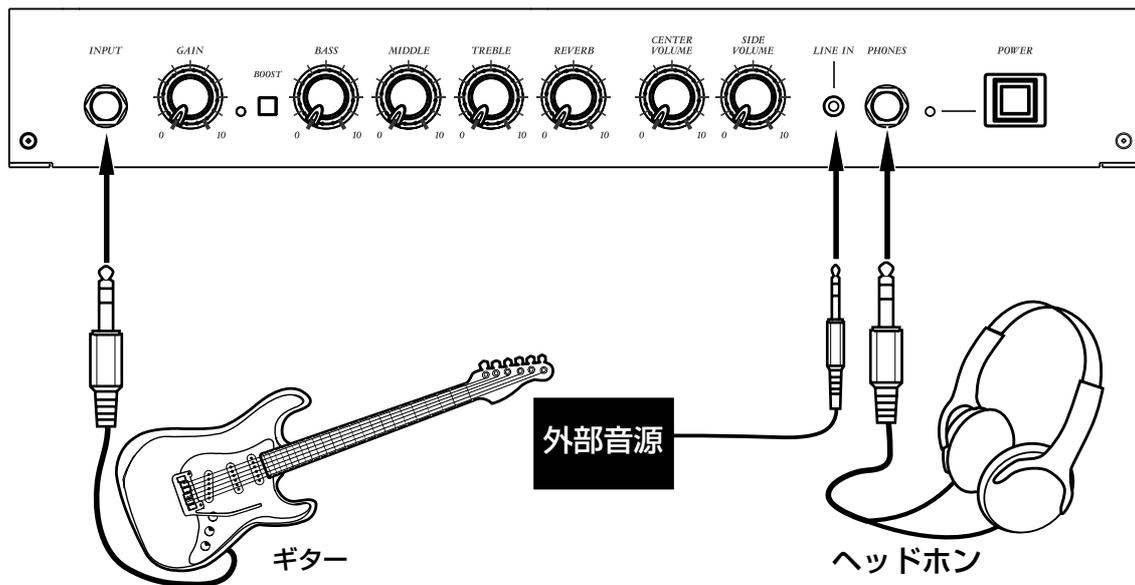
④⑬ トラック番号/時間表示

再生中、選択中のトラック番号および時間を表示します。また、各種設定時の表示にも使用します。

④⑭ #、b

キーモード使用時に音程を表すときに使用します。

3 接続



ギターの接続

ギターをINPUT端子に接続します。

ヘッドホンの接続

本機のスピーカーを鳴らさずにヘッドホンでモニターする場合、PHONES端子にステレオヘッドホンを接続します。PHONES端子に接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

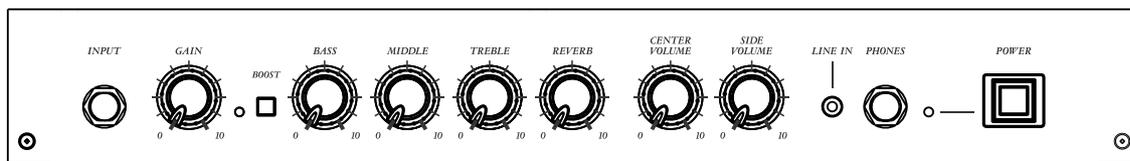
ご注意

大きい音で聞くと耳を傷めますので注意してください。

外部音源の接続

外部のシンセサイザー、オーディオ機器などを入力するには、LINE IN端子に接続します。入力された信号はSIDEスピーカーに送られます。また、SIDE VOLUMEで音量を調節することができます。

4 ギターアンプを使う



音量と音質を調節する

本機には迫力ある歪みサウンドを作るためのブースト回路が内蔵されています。ブーストスイッチをオンにするとこの回路が入り、スイッチ左横のLEDが点灯します。

ブーストスイッチがオフではギターからの入力信号が歪まないクリーンサウンドが出力されます。

音量はGAINつまみで調節します。ブーストスイッチがオンのときは歪み量と同時に音量も変わります。

最終的なギターアンプの音量はCENTER VOLUMEつまみで調節します。

CENTER VOLUMEつまみはメインスピーカー（6.5インチ）に送る出力信号全体の音量を調節します。ギターアンプ出力だけでなく、エフェクターが出力されるように設定されている場合は、その出力も一緒に調節します。

音質（周波数特性）はBASS、MIDDLE、TREBLEの3つのつまみを使って調節します。

音作りの手順例

1. GAINつまみ、CENTER VOLUMEとSIDE VOLUMEを最小にする。
2. ギターを接続する。
3. BASS、MIDDLE、TREBLEつまみを最大に設定する。
4. GAINつまみを真ん中に設定する。
5. ギターを鳴らしながら少しずつCENTER VOLUMEを上げて、適当な音量に調整する。
6. GAINつまみ、BOOSTスイッチ、BASS/MIDDLE/TREBLEつまみを操作して音色を調整する。
7. 使用するエフェクターを選択し、エフェクター部の3つのつまみを操作して音色を調整する。
8. 必要に応じてCENTER VOLUMEもしくはSIDE VOLUMEを操作して音量のバランスを取る。

音作りは上記以外の方法でも可能ですが、突然の大音量を避けるためにGAINとVOLUMEつまみを絞ってからギターを接続してください。

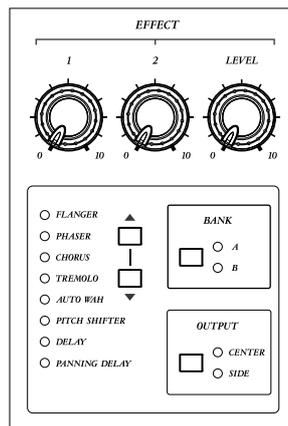
メモ

10がカット無し、0がカット幅最大になります。ノブの位置が10ではその周波数成分をそのまま通します。ノブの位置を0にするとその周波数成分を大きくカットします。

5 エフェクターを使う

本機にはエフェクター (EFFECT) とリバーブ (REVERB) が内蔵されています。

これらはプリアンプ回路 (GAIN、BASS、MIDDLE、TREBLE のトーン回路) の後ろに接続されます。



エフェクター (EFFECT)

エフェクターを選択する

EFFECT セクションのエフェクト選択スイッチ (▲、▼) を使って、ディレイ、パンニングディレイ、フランジャー、フェイザー、コーラス、トレモロ、オートワウ、ピッチシフター (または OFF) の中からエフェクトを選択します。選択に応じて、左のエフェクトインジケータが点灯します。オフのときは全てのLEDが消灯します。

パラメータを設定する

各つまみを使って、現在選択されているエフェクターの効果量を調節できます。(下表参照)

エフェクター名	1		2		LEVEL	
1 Flanger	SPEED	変調の周波数が0.1 ~ 10Hzまで変化します。	DEPTH	変調の深さを調整できます。	F/B LEVEL	フィードバックのレベルを調整できます。
2 Phaser	SPEED	変調の周波数が0.2 ~ 20Hzまで変化します。	RESONANCE	レゾナンス効果を調整します。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。
3 Chorus	SPEED	変調の周波数が0.1 ~ 10Hzまで変化します。	DEPTH	変調の深さを調整できます。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。
4 Tremolo	SPEED	変調の周波数が0.2 ~ 20Hzまで変化します。	WAVE TYPE	変調波形を設定できます。0付近で三角波、5付近でサイン波、10付近で矩形波となります。	DEPTH	エフェクターの効果量を設定できます。レベルを最大にすると変調の振幅も最大になります。
5 Auto Wah	SENSE	Auto Wahの反応感度を設定します。	Q	フィルタの特性を設定できます。大きくすると効果が強くなります。		
6 Pitch Shifter	PITCH	音程のシフト量を±1オクターブの範囲で設定できます。中央の位置では効果0となります。	FINE	音程のシフト量を±50 centの範囲で設定できます。中央の位置では効果0となります。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。
7 Delay	DELAY TIME	ディレイ時間を10ms ~ 1.1 secの間で調整できます。	F/B LEVEL	フィードバックのレベルを調整できます。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。
8 Panning Delay	DELAY TIME	ディレイ時間を10ms ~ 1.1 secの間で調整できます。左右のSUBスピーカーにフィードバック音を交互に振ります。	F/B LEVEL	フィードバックのレベルを調整できます。	LEVEL	エフェクターの効果量を設定できます。

5 エフェクターを使う

エフェクターのプリセット

初期の状態ではそれぞれのバンクに Chorus と Delay が設定されています。

BANK 番号	使用エフェクター
A	Chorus
B	Delay

エフェクターのプリセットを初期状態に戻す

各種設定の FXRS 項目を使い、エフェクターのプリセットを初期状態に戻す事ができます。詳細は 19 ページ「9 各種設定を行う」の「エフェクタープリセットの初期化」をご覧ください。

出力を選択する

エフェクト信号 (ウェット) を出力するスピーカーを選択することができます。OUTPUT キーを押すたびに設定が変わり、設定に応じて CENTER、SIDE または両方のインジケータが点灯します。ただし、一部のエフェクター (ワウワウ) では “SUB” を選択できないように設定されています。

CENTER : センタースピーカーからギター信号 (ドライ) と一緒に出力されます。一般的な設定です。

SIDE : サイドスピーカーから出力されます。ギター信号 (ドライ) とエフェクト信号 (ウェット) が別のスピーカーから出力されるため、独特のスピーシーなサウンドを得ることができます。

CENTER + SIDE : センタースピーカーとサイドスピーカーの両方から出力されます。CENTER VOLUME と SIDE VOLUME の設定によってバランスが決まります。

メモ

出力するスピーカーの選択によって出てくる音の印象が大きく変わります。切り替えながら音色を調整して好みの音を設定してください。

リバーブ (REVERB)

本機内蔵のリバーブは、古典的なギターアンプのスプリングリバーブをシミュレートしています。

REVERB つまみ

リバーブ信号 (ウェット) の出力レベルを設定します。

リバーブ設定はバンクに記録されません。常につまみの位置で設定されます。

エフェクトバンク

本機にはエフェクターの設定を保存するためのバンクが 2 個 (A と B) 用意されています

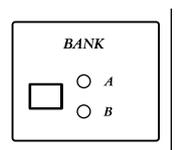
バンクを切り換える

A もしくは B のバンクを切り換えるには、バンク選択キーを使います。バンクを切り替えることで、異なったタイプのエフェクターを呼び出すことができます。

現在使用しているバンクはパネル表示の横にある LED で示されます。

バンクへのエフェクター設定は操作直後に行われるので、特別に保存のための操作は必要ありません。

バンクの状態は常に前回使った状態が記録されていますので、場合によってはつまみの位置と再現されているエフェクターのパラメーターと一致しない場合があります。この場合、つまみを操作した時点でそのつまみの位置でエフェクターが設定されます。



ご注意

バンクを呼び出したとき、インジケータ類は現在のバンク設定を表示しますが、つまみ (EFFECT の 1、2、LEVEL) の位置は動かないため実際の設定と一致しません。この状態でつまみを動かすと、そのつまみの設定が物理的位置に更新されます。

6 CD プレーヤーを使う

CDを再生する

1. CD プレーヤーカバーの手前 (▲) を軽く押してカバーを開けません。
 2. トレイにCDを正しく載せ、カバーを閉じます。
 3. ▶/|| キーを押すと再生を開始します。
- 再生を停止するには ■ キーを押します。
 - 再生を一時停止するには、▶/|| キーを押します。
 - トラックを前後にスキップするには、◀◀ (◀◀) キーまたは ▶▶ (▶▶) キーを押します。
 - サーチを行なうには ◀◀ (◀◀) キーまたは ▶▶ (▶▶) キーを押したままにします。

メモ

再生中にカバーを開けると、再生を停止します。

時間表示を切り換える

TIME/ESC キーを押すたびに表示窓の時間表示が以下の順で切り換わります。



希望の範囲を繰り返し再生する

以下の手順で、希望の区間を繰り返し再生 (ループ再生) することができます。

1. CD 再生中 (または一時停止中)、ループ再生したい区間の始点で LOOP I/O キーを押します。
現在位置が IN 点 (始点) として設定され、表示窓に "I-O" が点滅します。
 2. ループ再生したい区間の終点で LOOP I/O キーを押します。
現在位置が OUT 点 (終点) として設定され、IN - OUT 点間のループ再生が開始されます。
ループ再生中、表示窓に "I-O" が点灯します。
- ループ再生を終了するには：
LOOP I/O キーを押します。ループ再生を終了して、通常の再生を継続します。このとき IN 点と OUT 点の設定は解除されます。また、LOOP I/O キーを長く押し、IN 点と OUT 点の設定を保存したままループ再生をオン/オフすることができます。

1 曲または全曲を繰り返し再生する

現在の曲またはディスクの全曲を繰り返し再生することができます。

1. あらかじめ、SETUP モードの PLAY メニューで全曲ループ (ALL) または 1 曲ループ (SGL) を選択しておきます。
選択方法については「各種設定を行なう」(19 ページ) をご覧ください (初期設定は "ALL")。
 2. LOOP I/O キーを長く押し、
上記設定に応じて、全曲または 1 曲のループ再生を開始します。
- ■ キーを押すと再生を終了します。
 - LOOP I/O キーを長く押し、ループ再生を終了して、通常の再生を継続します。

メモ

IN 点と OUT 点を設定されている場合は、一度 LOOP I/O キーを押して設定を解除してください。

テンポを変える

再生する曲のテンポを変えることができます。

テンポの設定

以下の手順でテンポの設定を行ないます。

1. TEMPO キーを長く押し、
TEMPO キーの上の LED が点滅して、LCD 画面がテンポ設定画面になります。
2. DOWN/CENTER/UP キーを使ってテンポを設定します。
テンポ値を 0 以外に設定すると、テンポモードがオンになり、設定されたテンポに従って再生が行なわれます。
TEMPO 機能が有効か、TEMPO が 0 以外のときに TEMPO キーの上の LED が点灯します。

VSA 機能 (次項参照) がオンのときとオフのときとで、テンポ設定ステップが異なります。

VSA オン時：- 50、- 32、- 16、- 12、- 8、- 4、0、+ 4、+ 8、+ 12、+ 16 (%)

VSA オフ時：- 50% ~ + 16% の範囲を 1% 刻みで設定可能

メモ

VSA オフ時にテンポ値を設定し、その後 VSA をオンに切り換えた場合、最も近いテンポ値に自動変更されます。

3. 設定を終えたら、TIME/ESC キーを押して、時間表示画面に戻します。

6 CDプレーヤーを使う

テンポモードのオン/オフ

TEMPO キーを押すと、テンポモードのオン/オフが切り換わりません。

オンからオフに切り換えたとき、テンポ値は記憶されていますので、次回オンにしたときは以前のテンポ値で再生が行なわれます。

キーを変えずにテンポを変える (VSA)

本機の VSA 機能 (Variable Speed Audition) をオンにすると、曲のキーを保ったままテンポを変えることができます。

VSA 機能のオン/オフを切り換えるには、VSA キーを押します。オンのとき、VSA キーの上の LED 点灯します。

VSA 機能をオン/オフにすると、テンポモードも同時にオン/オフします。

キーを変える

テンポを変えずにキーだけを半音単位で変えることができます。

キーの設定

1. KEY キーを長く押します。

KEY キーの上の LED が点滅し、キー設定画面が表示されます。

2. DOWN/CENTER/UP キーを使ってキーを設定します。

±6 半音の範囲 (b6 ~ #6) でキーを上下できます。

キーを変えると (0 以外に設定すると)、キーモードがオンになり、設定に従ったキーで再生が行なわれます。

KEY キーの上の LED が点灯します。

3. キーの微調整をするには、再度 KEY キーを押します。

4. DOWN/CENTER/UP キーを使ってキーを微調整します。

セント (半音の 1/100) 単位でキーを上下できます。

メモ

上記手順 2 でキーを変更しない場合 (0 に設定した場合) でも、手順 3 で微調整を行なうとキーモードがオンになります。

5. 設定を終えたら TIME/ESC キーを押します。

表示窓が時間表示に戻ります。

キーモードのオン/オフ

KEY キーを押すと、キーモードのオン/オフが切り換わりません。

オンからオフに切り換えたとき、キー設定値は記憶されていますので、次回オンにしたときは以前のキー値で再生が行なわれます。

ギターのをキャンセルする

CD に録音されているギターのを削減することができます (ギターキャンセル機能)。

ギターキャンセル機能のオン/オフを切り換えるには、GUITAR CANCEL キーを押します。ギターキャンセル機能をオンにすると、GUITAR CANCEL キーの上の LED が点灯します。

ギターキャンセル機能の設定を行なう

キャンセルした音の定位や音域を変更する場合は以下の操作を行います。

1. GUITAR CANCEL キーを長く押します。

表示窓に "PART" が表示されます。

2. 再生音を聞きながら、DOWN/CENTER/UP キーを使って、最もギターのを削減される定位 (L10 ~ R10) を選択します。

3. GUITAR CANCEL キーを押します。

表示窓に "RNGE" が表示されます。

4. 再生音を聞きながら、DOWN/CENTER/UP キーを使って、キャンセルする音域 (MID= 中音域、または ALL= 全音域) を選択します。

5. 設定を終えたら TIME/ESC キーを押します。

表示窓が時間表示に戻ります。

メモ

設定した定位の値は記憶されますので、ギターキャンセル機能をオンにしたときは以前の設定に従います。

7 チューナーを使う

GA-30CDはギターチューナーを内蔵しています。チューナーモードには、クロマティックモードとギターモードの2種類があります。

クロマティックモード（初期設定）では、本機が入力信号の音程を自動的に検知します。これに対してギターモードでは、あらかじめチューニングする弦を指定します。

準備

チューニングモードを選択する

セットアップモードのTMODメニューで、チューニングモードを選択します。クロマティックモード（CHR）とギターモード（GTR）の2つのモードがあります（初期設定は“CHR”）。

選択方法については「各種設定を行なう」（19ページ）をご覧ください。

スピーカーのオン/オフを設定する

セットアップモードのTOUTメニューで、チューナー音をスピーカーから出力するかしないかを選択することができます（初期設定は“OFF”）。

選択方法については「各種設定を行なう」（21ページ）をご覧ください。

基準周波数を設定する

チューナーの基準周波数（A音）を設定することができます。

1. OSC/CAL キーを長く押しします。

表示窓にCALと表示されてキャリブレーションモードになります。

2. DOWN/CENTER/UP キーを押して、基準周波数を設定します。435Hz～445Hzの範囲で設定できます。

CENTERキーを押すと440Hz（初期設定）に戻ります。

3. 設定を終えたら、OSC/CAL キーまたはESCキーを押してキャリブレーションモードを終了します。

表示窓が時間表示に戻ります。

クロマティックモードでチューニングする

1. ギターを入力し、TUNERキーを押します。

表示窓に“TUNER”が点灯し、チューニングメーターが表示されます。



チューニングしたいギターの弦を弾くと、最も近い音名が表示されます。

2. 合わせたい音名が表示されるよう、ラフにチューニングを行ないます。

3. メーターの中央のドットだけが点灯するように、チューニングします。

音程が低い場合、左側のドットが点灯します。音程が高い場合、右側のドットが点灯します。ズレが大きいほどドットが多く点灯します。

4. チューニングを終えたら、TIME/ESC キーを押してチューナーモードを終了します。

表示窓が時間表示に戻ります。

ギターモードでチューニングする

1. ギターを入力し、TUNERキーを押します。

表示窓に“TUNER”が点灯し、チューニングメーターが表示されます。同時に右側に6Eと表示され、6弦をチューニングするように表示されます。

2. DOWN/CENTER/UP キーを使ってチューニングしたい弦（1E、2B、3G、4D、5A、6E）を選びます。

3. メーターの中央のドットだけが点灯するようにチューニングします。

4. チューニングを終えたら、TIME/ESC キーを押してチューナーモードを終了します。

表示窓が時間表示に戻ります。

8 オシレーター／メトロノームを使う

オシレーターを使う

内蔵のオシレーターを使って、3オクターブ（C3音～B5音）の範囲のサイン波をスピーカーから出力することができます。

1. OSC/CAL キーを押すと表示窓に OSC と表示されます。
2. DOWN/CENTER/UP キーを押して、発生する音を選択します。
初期設定は A4 です。
選択している音名（C3～B5）が画面に表示されます。
3. 設定を終えたら TIME/ESC キーを押してオシレーターモードを終了します。
表示窓が時間表示に戻ります。

メモ

オシレーター出力の基準周波数はキャリブレーションモードの設定に従います。（→19ページ「基準周波数を設定する」）

メトロノームを使う

本機にはメトロノームが内蔵されています。以下の手順でテンポと拍子を設定します。

1. ■(MTRO)キーを長く押しします。
メトロノームモードになります。この時点でメトロノームはオフの状態です。
2. DOWN/CENTER/UP キーを使って、テンポ (Tempo) を設定します。設定するとメトロノームがオンになります。
テンポは 40～220 の範囲で設定できます。
3. ■(MTRO)キーをポンと押しします。
DOWN/CENTER/UP キーを使って、拍子 (Beat) を設定します。
拍子は 2～6 の範囲で設定できます。
4. 設定を終えたら TIME/ESC キーを押してメトロノームモードを終了します。
表示窓が時間表示に戻ります。

9 各種設定を行なう

セットアップモードを使って本機の各種設定を行なうことができます。

TUNER/SETUP キーを長く押しとセットアップモードになります。セットアップモード時、LCD 画面中の MENU が点滅します。このモード中、TUNER/SETUP キーを押すたびに設定項目が切り換わります。各項目では、DOWN/-CENTER/UP キーを使って値を選択します。CENTER キーを押すとデフォルトに戻ります。

設定項目

- 再生モードの選択。
- チューナーモードの選択。
- チューナー音のスピーカー出力オン/オフ。

設定を終えたら TIME/ESC キーを押してセットアップモードを終了します。

再生モードの選択

ループ再生機能を使って、CD 再生時にディスク全曲再生する (ALL) か 1 曲のみ再生する (SGL) かを選択します。

初期設定は ALL です。

チューナーモードの選択

TMOD 項目を使って、チューナーモードを選択します。

CHR (初期設定) : クロマチックモード

GTR : ギターモード

チューナー音のスピーカー出力オン/オフ

チューナーの音をスピーカーから出力する (オン) かしない (オフ) かを設定します。

初期設定はオフです。

エフェクタープリセットの初期化

FXRS 項目を使ってエフェクターの全ての BANK 設定を初期状態に戻すことができます。

FXRS 項目を選択すると表示窓に "NO" と表示されます。DOWN/CENTER/UP キーを押すと "YES" 表示になります。

この状態で CENTER キーを長押しすると、エフェクター BANK が初期設定状態で書き込まれます。

初期化が終了すると表示窓に "DONE" と表示され、その後時間表示に戻ります。

注意

エフェクタープリセットの初期化を実行すると、保存されている全ての BANK 設定は初期状態に戻りますので、注意してください。

10 仕様

GUITAR AMP 部

定格出力

MAIN	15W/ 8Ω
SUB	7.5W + 7.5W/ 8Ω

スピーカー

CENTER	6.5 インチ
SIDE	3 インチ×2

入力

GUITAR INPUT

 アンバランス 1/4 インチジャック

基準入力レベル	-10dBu
入力インピーダンス	1.0M Ω

LINE INPUT

 ステレオミニジャック

基準入力レベル	-20dBv
入力インピーダンス	7K Ω以上

HEADPHONE

 6.3 φステレオフォンジャック

出力	20mW + 20mW以上/ 32 Ω
----	---------------------

内蔵エフェクタ (モノ/ステレオ)

種類	ディレイ、パンニングディレイ、 フランジャー、フェイザー、コーラス、 トレモロ、オートワウ、ピッチシフター リバーブ
プリセット数	2

CD 部

使用ディスク	8cm /12cm CD/CD-R/CD-RW (オーディオ CDのみ対応)
--------	--

AD/DA	16ビット
-------	-------

デジタル信号処理	32ビット
----------	-------

再生特性

周波数特性	20Hz to 20KHz + 1 dB/- 3dB
ダイナミックレンジ	> 80dB
S/N比	> 80dB
歪率	< 0.1%

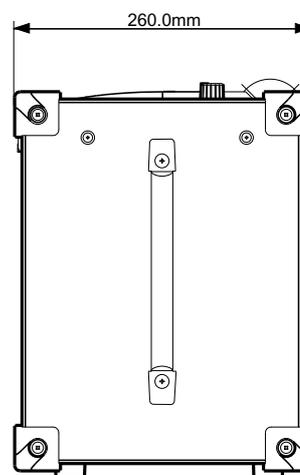
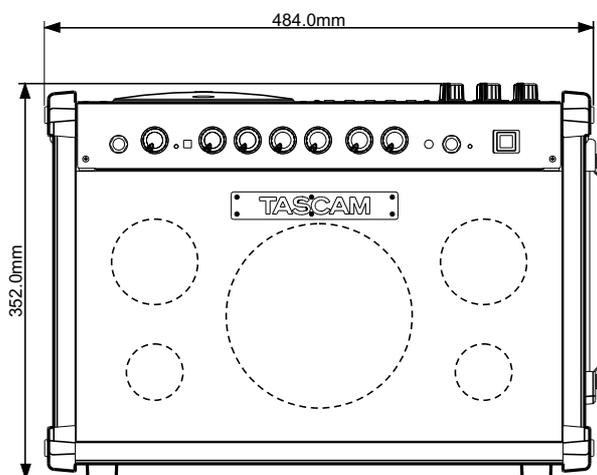
電源	100 VAC, 50 - 60Hz
----	--------------------

消費電力	36W
------	-----

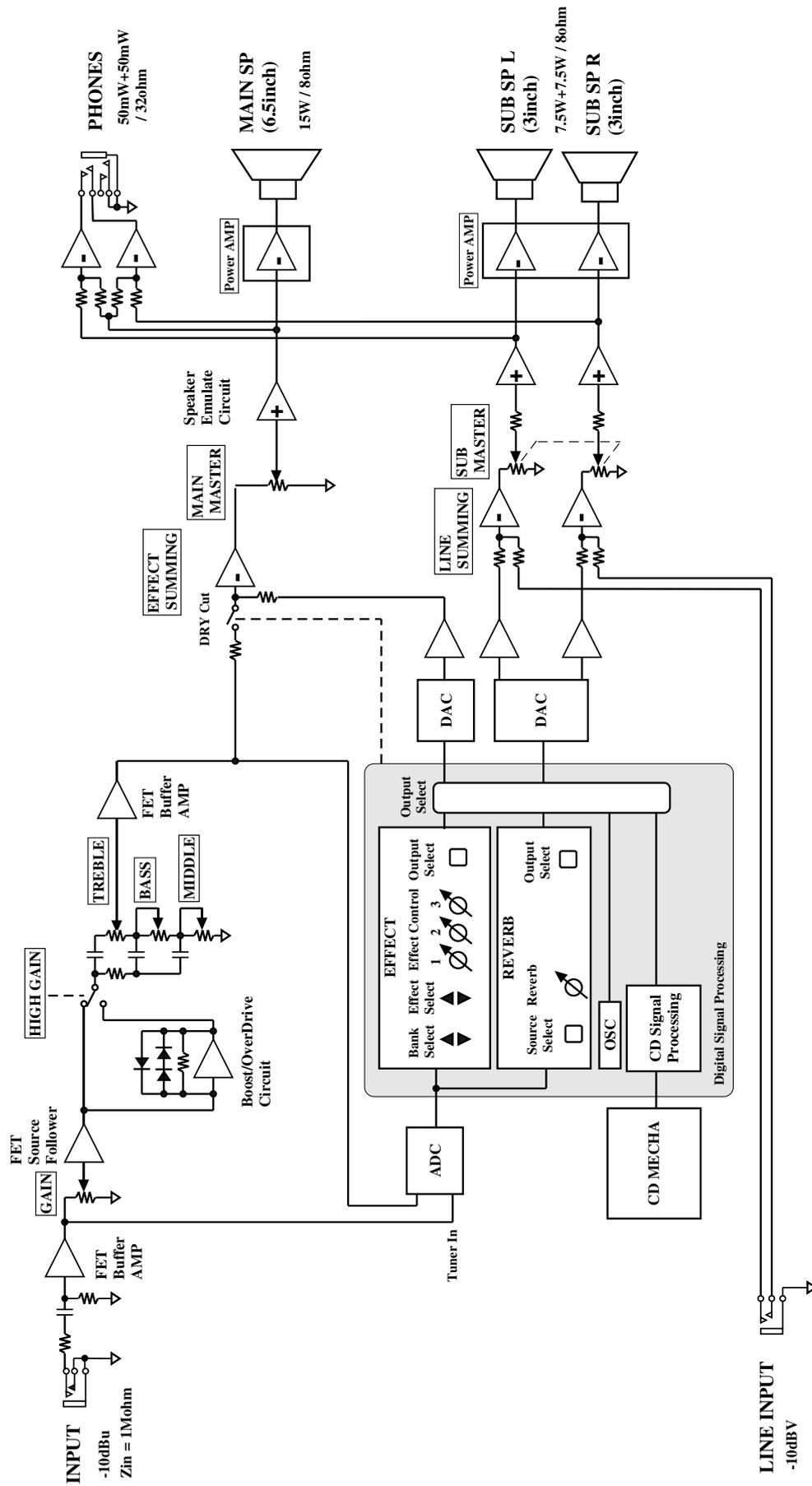
外形寸法 (W × H × Dmm)	484.0 × 352.0 × 260.0
--------------------	-----------------------

重量	13.8 Kg
----	---------

寸法図



ブロックダイアグラム



この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く 10:00～12:00/13:00～17:00 です。

タスカム営業技術 〒180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3

電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く 10:00～17:00 です。

ティアック修理センター 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-7



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3

<http://www.tascam.jp/>